

平成29年度 横須賀西部水産振興事業団

事業報告書

1 事業の概要

1. 事業に関する事項

市民の共有財産である相模湾沿岸の海岸が広く市民に親しまれる憩いの場となるとよう積極的に海岸環境の保全等に取り組むと共に漁業生産の場として広く活用されている相模湾沿岸の水産業の振興に寄与するため事業計画に基づき実施した。

各事業の実施状況は次のとおりである。

(1) 環境保全事業（定款・第4条-第1項-第1号関係）

ア. 海岸清掃のボランティア活動の推進

○5月21日（日）かながわ海岸美化財団ビーチクリーンアップかながわ2017（久留和海岸）に参加。

○6月11日（日）荒崎海岸クリーンフェスタ2017初夏

近隣の方が家族ずれ約120名が参加、荒崎海岸のごみ拾いを行い、ヒラメの放流を体験した。

○7月24日（月）富浦公園前海浜清掃活動

富浦公園前の干潟を守るため、横須賀市と共催で、長井中学校生徒も参加し、アオサ清掃とごみ拾いを行った。

○9月30日（土）荒崎海岸クリーンフェスタ2017秋

近隣の方が家族連れで約150名参加、約1時間荒崎海岸のごみ拾いを行い、クロダイの放流を体験した。

イ. 海浜の清掃活動費の援助

第2回理事会にて助成金交付を決定した事業のうち、長井町漁業協同組合においては、海洋汚染物等の収集、運搬、処理を行い快適な海岸環境の保全に努めるため、海岸の一斉清掃活動が平成29年10月24日に実施された。

平成29年12月19日、要綱に沿った完了届、実績報告書の提出があったので助成金60万円を交付した。

横須賀市大楠漁業協同組合においては、大楠地域の佐島地区をはじめ4地区の海岸について、快適な海岸と漁場環境の保全を図るため、海洋

汚染物等の収集、運搬、処理が適宜実施され、2月末日で完了した。

平成30年3月10日、要綱に沿った完了届、実績報告書の提出があったので助成金60万円を交付した。

ウ. 啓発物品の作製

本年1月、平成30年度の荒崎海岸クリーンフェスタなどのイベントで配布するポケットティッシュを2千個作成した。税込み54,000円。

(2) 調査研究・保護培養事業 (定款・第4条-第1項-第2号関係)

ア. 調査研究

○4月5日、平成29年度小田和湾アサリ藻場分布調査委託を契約した。

○6月1日、平成29年度藻場の保全に関する調査業務委託1と2を長井、大楠両漁協と契約した。

○平成29年度小田和湾藻場分布調査について

9月30日調査が終了し、10月17日市民向けパンフレットの原稿が納品され、11月20日調査報告書及び藻場分布拡大図が納品された。

○アサリ調査について

29年度調査委託は行わないが調査のための傭船料(大楠地区分)を負担した。調査については横須賀市に協力して、作業に参加している。

※26年度～28年度は横須賀市と共同で小田和湾アサリ生育調査委託事業を実施していた。

長井の調査作業参加 8/10 9/19 11/16 12/11 1/18 2/13 3/8

大楠の調査作業参加 9/20 10/18 11/15 12/13 2/5 2/16 3/14

○3月30日、平成29年度藻場の保全に関する調査業務委託1と2の完了届が長井、大楠両漁協から提出された。

イ. 水産物の保護培養事業

水産物の安定供給と海釣りなど県民の健全なレクリエーションの振興をめざすため、以下の種苗放流を実施した。

・放流種苗：トラフグ⇒10,000尾、・放流実施日：平成29年6月26日(月)

・放流種苗：ヒラメ⇒8,000尾、・放流実施日：平成29年7月13日(木)

※種苗放流時に長井町漁業協同組合と県栽培漁業協会の協力を得て

長井小学校4年生60名が放流体験した。その後県立海洋科学高校実習場で体験学習を行った。

・放流種苗：マダイ⇒8,000尾、・放流実施日：平成29年7月21日(金)

・放流種苗：カサゴ⇒8,000尾、・放流実施日：平成29年9月5日(火)

※種苗放流時に大楠漁業協同組合と県栽培漁業協会の協力を得て、大

楠小学校3年生(約90名)に放流体験をしてもらい、普及啓発活動を行った。

○サザエ、アワビ種苗放流事業(長井地区)

- ・放流種苗:サザエ⇒2,000個、アワビ⇒4,000個
- ・放流実施日:平成29年10月17日(火)

○アワビ、サザエ種苗放流事業(大楠地区)

- ・放流種苗:アワビ⇒4,000個 サザエ⇒2,000個
- ・放流実施日:平成29年11月7日(火) 平成29年11月22日(火)

(3) 研修事業(定款・第4条-第1項-第4号関係)

①平成29年6月20日(火)当事業団主催による「海と人と人をつなぐ講演会」を講師に長谷川孝一氏を迎え、西コミュニティセンターで開催した。(参加者約24名)

②しずくちゃんチャリティ「水環境講演会」(参加者約100名)

- ・開催日時:平成30年1月13日(土)10時から12時
- ・開催場所:ヴェルクよこすか6F<ホール>
- ・講師:京都大学防災研究所 准教授 川池健司氏
中央大学人間総合理工学部 准教授 山村寛氏
NPO法人湘南ビジョン研究所 壱岐信二氏

③漁業、新しい取組みを学ぶ研修会-2(参加者55名)

- ・開催日時:平成30年1月25日(木)14時から16時20分
- ・開催場所:横須賀市西浄化センター3F<会議室>
- ・講師:アジア航測(株)環境保全・再生技術部 壱岐信二氏
神奈川県水産技術センター 主任研究員 白井一茂氏

(4) 広報事業(定款・第4条-第1項-第5号関係)

ア. 広報紙作成事業

当事業団の事業活動状況や地域の水産関連等の情報を提供し、水産振興について幅広く市民に理解を深めてもらうため、広報紙「西部水産振興だより(第39号)」を作成し、9月に発行・配布した。また第40号を作成し、3月に発行・配布した。

○発行部数 3,000(無料配布)

※今回も3,000部発行とし、関係機関、学校及び大楠、長井、武山地区の44町内会、自治会に回覧した。

イ. 「甦れ、小田和湾藻場環境」作成、配布事業

本年度、調査を実施した小田和湾藻場分布調査の結果として小田和湾の磯焼けの状況、海中の変化について幅広く市民に理解を深めてもらうため、パンフレット「甦れ、小田和湾藻場環境」を作成し、11月に発行・配布した。

○発行部数 5,000（無料配布）

※関係機関、学校及び大楠、長井、武山地区の44町内会、自治会に回覧した。とくに神奈川県立海洋科学高校の海洋生物系生徒には全員配布した。

(5) 調査研究助成事業（定款・第4条-第1項-第2号関係）

ア. 効率的なアオリイカ産卵礁、設置に関する調査研究（長井）

平成22年度からアオリイカ産卵礁を設置して産卵を促し、その場所で成長させてきたが、今年度より効率よく質、量ともに増加が図れるよう産卵礁の資材の種類、設置の適地など調査研究を行った。

（対象：長井町漁業協同組合。助成額25万円）

イ. 食害生物（ムラサキウニ）等の駆除とその生育に関する調査研究（大楠）

ムラサキウニやガンガゼが岩場を占領し、海藻類が壊滅している状況でそのムラサキウニを採取し、キャベツを食用としてウニを養殖するそのシステムを確認し、養殖する施設を設けその生育調査を行った。

（対象：横須賀市大楠漁業協同組合。助成額25万円）

(6) 経営安定事業（定款・第4条-第1項-第3号関係）

ア. 漁業経営資金等助成事業

第2回理事会において「平成29年度経営安定事業に係る漁業経営資金等助成金の交付について」決議された横須賀市の相模湾沿岸海域における漁業生産力の向上と水産物の安定供給に寄与するため、漁業協同組合の経営基盤の強化と漁業経営の安定化を図るために融資を受けたものに対してその返済のため助成金の交付を行った。（9月1日）

○横須賀市大楠漁業協同組合 助成額：3,000,000円

○長井町漁業協同組合 助成額：3,000,000円

※平成28年度まで特定財源からの支出であったが、今年度からは基金の利息を積立、その資金から支出した。